



# 道の駅おとふけにおける プロジェクト認証の取得について



音更町農政課林業係 鈴木 英宣

# 道の駅の概要

## 【コンセプト】

- ・十勝・音更町の「食」を集結
- ・自然エネルギーを積極的に活用
- ・災害時には道路利用者等の一時避難所
- ・十勝の大地にマッチした伸びやかな外観デザイン
- ・全ての人々が利用しやすい配置、平面計画
- ・開かれた中庭広場を中心に施設構成



# 道の駅の概要

## 【総事業費】

1,572,638千円（設計、建設、用地取得等）

## 【建物の構造・面積】

木造一部鉄骨造平屋建 1,960.64㎡

## 【建物以外の主な施設】

中庭広場（タイル舗装）、広場（芝生）、築山  
なつぞらエリア、フラワーガーデン等

# 道の駅の概要

## 【駐車場・駐輪場】

一般車：244台、車中泊車：12台

大型車：22台、優先4台、自転車15台等

## 【主な施設機能】

飲食店、無料休憩・飲食コーナー、トイレ、団体休憩室、  
カフェ、ベーカリー（工場）、農畜産物等販売所、売店  
キッズコーナー、情報発信コーナー、防災倉庫

# 道の駅の概要

## 【飲食店の事業者について】

【飲食店1】 和の実 榊

【飲食店2】 Petit joie

【飲食店3】 豚丼のぶたはげ

【飲食店4】 らあめん藤

【飲食店5】 そば屋然

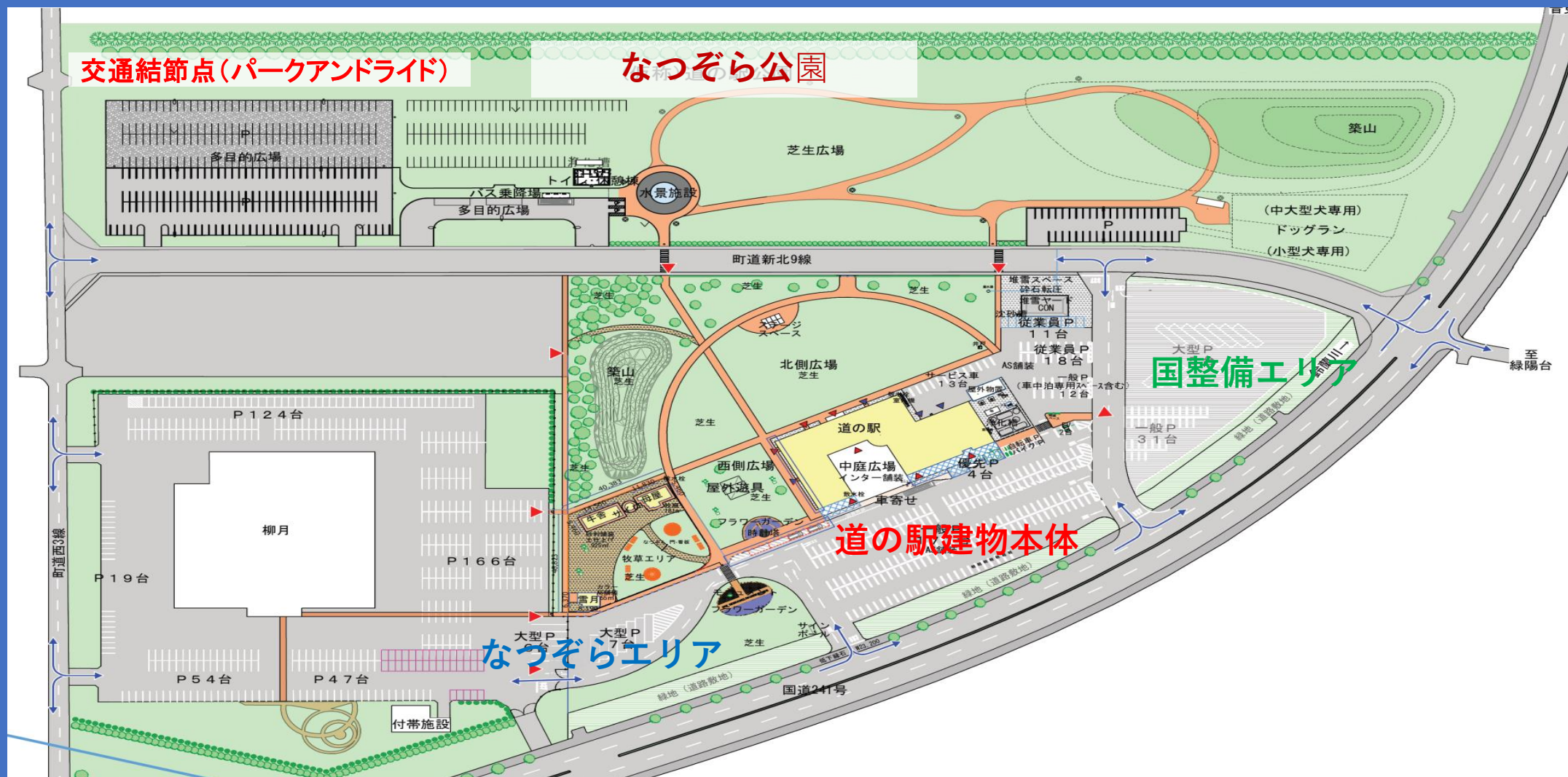
【飲食店6】 うどん 麦笑 壱咲

【飲食店7】 (テイクアウト) SKYPIEA (スカイピア)

【カフェ】 和スイーツカフェ 茶屋 GREEN

ベーカリー 十勝産小麦 100%ベーカリー満寿屋商店 みちます

# 道の駅の概要



# 音更町「道の駅」

## 魅力発信エリア・道の駅おとふけ建屋構造材部分認証プロジェクト

◆プロジェクト対象物件：魅力発信エリア・道の駅整備事業建設工事

◆プロジェクト対象範囲：主要構造材（カラマツ集成材）

◆総工事費（道の駅施設本体）：1,139百万

◆管理方式：パーセンテージ方式＝100%

◆プロジェクトメンバー【音更町/プロジェクトマネージャー  
/宮坂・村上ジオックス特定建設工事JV】

### ◆認証材の流れ

- ・音更町（建築主）
- ・十勝大雪森林組合：立木調達者・ラミナ材生産
- ・物林株式会社：集成材 受注、納入
- ・協同組合 オホーツクウッドピア：集成材製作
- ・(株)よつばハウジング：プレカット加工
- ・原木丸太納入（音更町有林）カラマツ

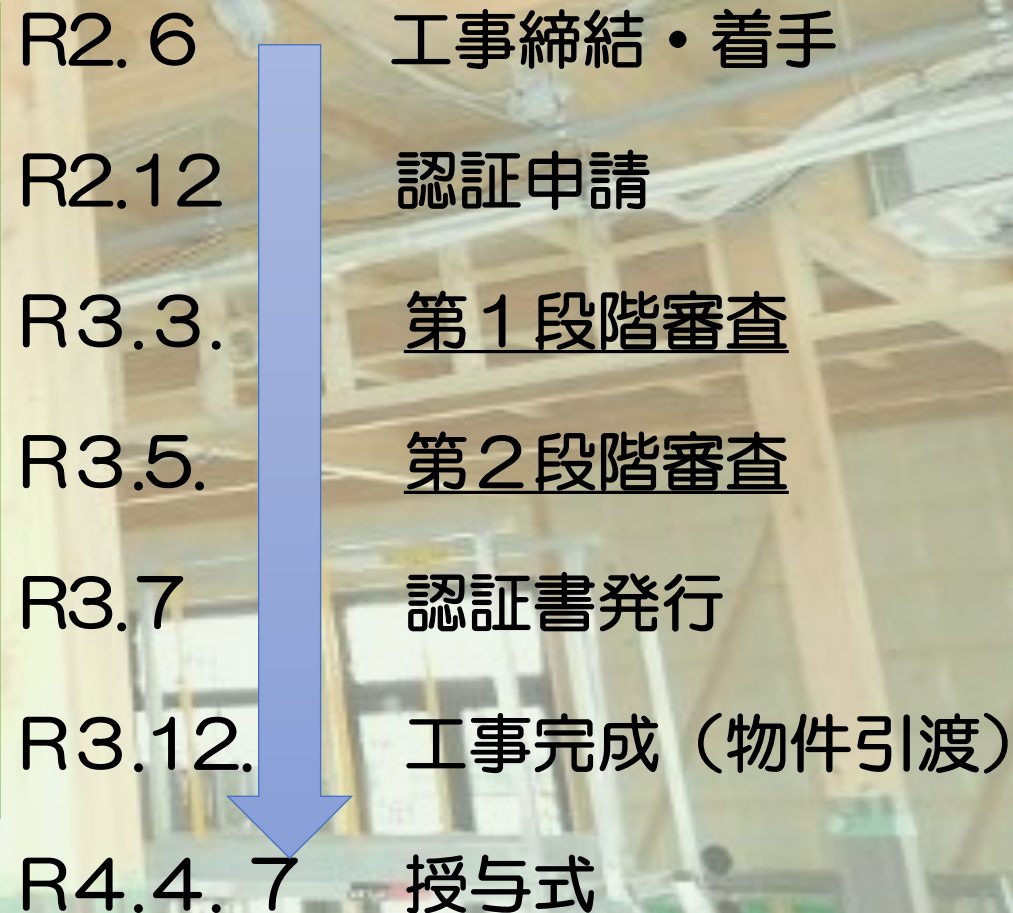


# 「魅力発信エリア・道の駅おとふけ建屋構造材部分認証プロジェクト」

構造 木造一部鉄骨平屋建て（在来工法）  
工期 R2.6.24～R3.12.10  
床面積 1,960.64m<sup>2</sup>  
使用木材 全体：約106m<sup>3</sup>

【SGEC認証材（カラマツ集成材）】  
構造材（梁、桁、母屋、管柱、平柱、ポーチ柱）  
約81m<sup>3</sup>使用

【その他（カラマツKD材）】  
構造材（土台、火打ち）約25m<sup>3</sup>





# 認証取得の経緯について

## 【プロポーザルがそもそものスタート】

受注した企業体から認証材使用の提案が当初から有り、音更町にとっても地元材を活用し、さらに道の駅に付加価値を付けるチャンスでもあり、「PJCoC認証」を適用して認証材活用の流れをつくり、十勝地方の認証材の認知と流れを地域、全国へ、波及させていく方針とした。

# 受注業者との相互理解

- プロジェクト認証を取得するために、施工業者と研修会を開催した。  
(令和3年3月4日)
- 研修会開催後、「プロジェクト認証に関する覚書」をとり交わした。
- 音更町で作成したSGECプロジェクトCoC認証管理マニュアルを遵守してもらうよう現場代理人の自筆の署名の書類を提出。

# 第1段階審査

日時 R3.3.30 (9:00-12:00)

場所 現地 (道の駅 現場事務所)

審査者 1名 (SGSジャパン)

内容 書類整理状況及び体制に関する聞き取り

結果 「一般観察事項及び改善の機会」

①資材入荷先における加工記録について検討

②下請け業者全てから合意を得て覚書きの文書を取り交わす方法を改善

## 第2段階審査

日時	R3.5.7 (9:00-12:00)
場所	現地 (道の駅 現場事務所)
審査者	1名 (SGSジャパン)
内容	建設状況、前回提起事項の是正状況の確認
結果	提起事項無し

第1段階＋第2段階審査でおおよそ600千円かかり、とかち森林認証協議会へ負担金を納入

# プロジェクト認証についての感想

## 【良かったところ】

- 森林を管理しているという意識が芽生えた
- 認証材を用いたことにより、道の駅に付加価値が生まれた

## 【悪かったところ】

- 一般住民の認証制度の理解がまだまだ足りない
- 審査負担金がもう少し安価であれば、制度も利用しやすい

# SGEC/PEFCプロジェクト認証書授与式

令和4年4月7日（木）に「道の駅おとふけ なつぞらのふる里」で開催



# 道の駅 音更 2022.4/15 GRAND OPEN !!

